

すみだ景観フォーラム会報 ~ 第 6 号 ~

発行元(すみだ景観フォーラム事務局)

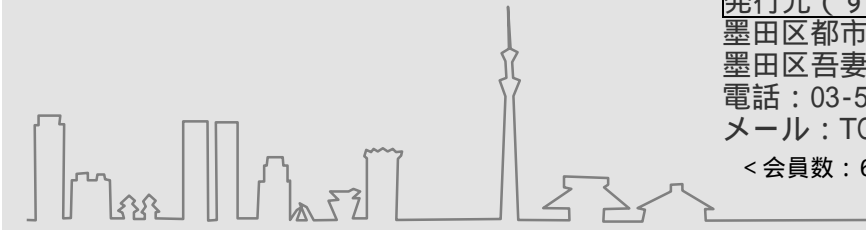
墨田区都市計画部都市計画課

墨田区吾妻橋 1 丁目 23 番 20 号

電話: 03-5608-6266 / F A X : 03-5608-6409

メール: TOSHIKEIKAKU@city.sumida.lg.jp

< 会員数: 66 名 (平成 26 年 6 月末現在) >



平成 25 年度は「街歩き」「シンポジウム」を行いました！

すみだの景観をより一層、個性ある魅力的なものとしていくためには、区民の自主的な景観への取り組みが重要です。そこで景観に関する意見交換や共通認識を通して目指したい景観を導き出し、身近なことから取り組むためのきっかけの場として、「すみだ景観フォーラム」を実施しています。

すみだ景観フォーラムでは、平成 20 年度より、実行委員を中心として様々なイベントを開催してきました。平成 25 年度の「すみだ景観フォーラム」では『残したいすみだの景観 道に歴史あり～すみだの道 半世紀前と今～』をテーマに掲げ、街歩き・シンポジウムを行いました。

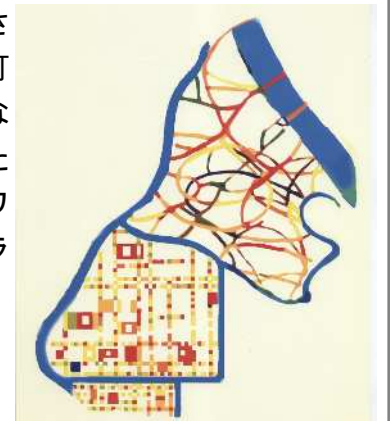
各イベントともに、すみだ景観フォーラムの会員のみならず、区内外から多くのご参加をいただき、ありがとうございました。イベントの概要については、次のページから紹介します。

実行委員の声

今回の街歩きで体感したことは、このまちの道、川そのものが歴史と伝統そのものであり、我々も今その中に生きている、と云うことでした。そんな先人達も歩いた、愛しくて悲しくもある、道筋・川筋が明日に向かって少しでも輝き出せば、との思いを胸に今回は歩いてみました。真っすぐな道の「本所」、曲がりくねった道の「向島」、このまったく違った町筋に二分されるのがすみだの魅力です。その二つの相違する町筋を美しいライン(町筋)にしていくのはどうでしょう。昼は街路樹や路地園芸、夜は街路灯などで“真っすぐな道”と“くねくね道”を浮かび上がらせることが出来たら、さぞかし美しい町筋になるでしょう。そして二つの町の境にあるタワーからの眺めも変わっていくでしょう。また今回すみだの街を“すみだライン(町筋)”としてイメージ図を作成し、シンポジウムで皆さんに提出できたことは一つの喜びです。ありがとうございました。

すみだ景観フォーラム実行委員

小池 和史



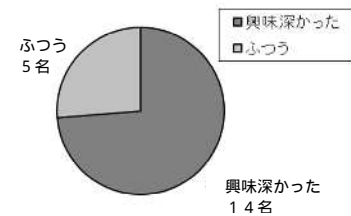
すみだライン(町筋)

『すみだ景観フォーラム』とは

区民のみなさんが、すみだの景観について意見交換・共通認識をもつためのきっかけの場です！どなたでも参加可能ですのでご希望の方は事務局までご連絡ください。

街歩き参加者アンケート結果 (回答者数 19 名)

1 景観フォーラムの内容について



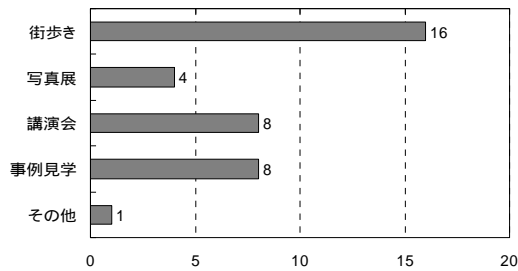
< 街歩きについての感想 >

- ・ 地元にいるが知らない事が多く勉強になりました。車での移動が多い今日街歩きという活動に参加でき、あらためて地元を歩いてみたいと思いました。
- ・ 墨田区出身でないので別な角度から歴史にふれられて良かった。
- ・ 墨田区に長く勤務していたがまだまだ知らない所があると思いました。
- ・ また参加したいと思います。
- ・ 本日は時間が足りない、盛りだくさんという感じでした。内容は良かったです。

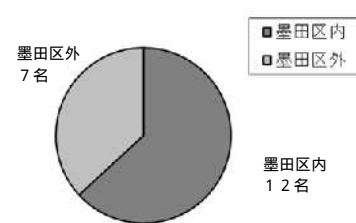
< 意見・要望 >

- ・ これからも楽しみにしております。
- ・ すみだ景観のとらえ方を更にさぐりたい。

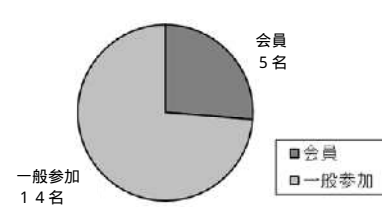
2 今後参加したい活動について(複数回答)



3 お住まい

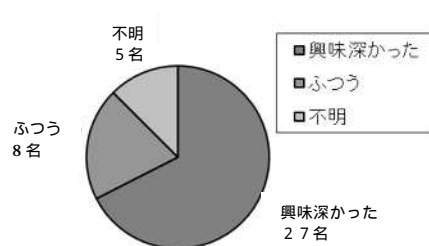


4 すみだ景観フォーラム会員



シンポジウム参加者アンケート結果 (回答者数 40 名)

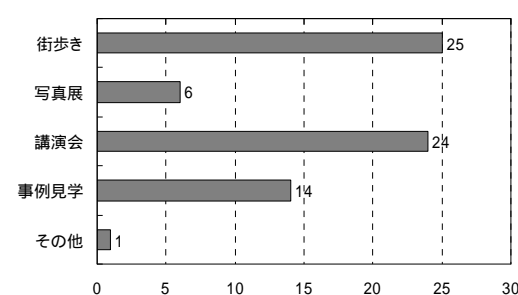
1 景観フォーラムの内容について



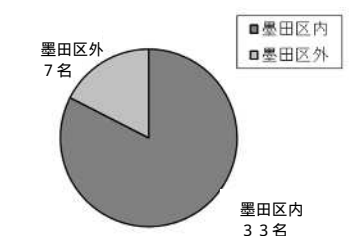
< シンポジウムの感想 >

- ・ 瀧口先生の進行等が素晴らしかったです。また先生のお話がお聞きしたいです。
- ・ 会場の方からの質問・意見取り込みは大変だと思いました。しかしコーディネーターの方の采配が素晴らしかったです。
- ・ 墨田区にも知らない地域がたくさんあり、興味を持ちました。市民参加型のフォーラム、切口が「道」で分かりやすく、発言しやすかったのが良かったです。
- ・ 昔懐かしく歴史の勉強が出来ました。
- ・ いくつか自分が知らなかった興味深い話が聞けました。向島の道、本所の道が全く違うのが興味深かったです。

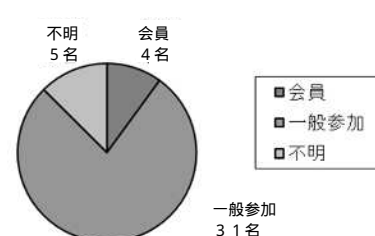
2 今後参加したい活動について(複数回答)



3 お住まい



4 すみだ景観フォーラム会員



街歩き

すみだの道は、どのような歴史を経て、今の道になっているのでしょうか。
約半世紀前と現在の道を地図や写真で比較しながら、3ルートに分かれて街歩きを行いました。

概要

日時 平成26年1月25日(土)午後1時20分から午後5時まで
集合 午後1時20分

- A 曳舟川通りルート
- B 平井街道・中居堀通りルート
- C 北斎通り・清澄通りルート

実行委員より

墨田区は曳舟の再開発やスカイツリーの建設により変化しています。そんな中で50年前はどのような街並みだったのかと調べ始めたのが今年の企画を始めるきっかけです。下町の人情の良さを伝えながら50年後どのような街になるのかということも踏まえ、話し合いができればと思います。

各ルートの説明

A 曳舟川通りルート

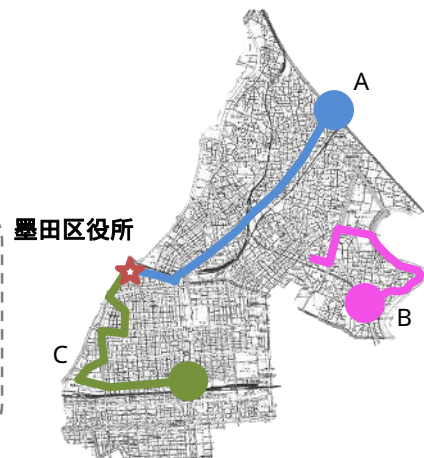
約50年前にあった煉瓦工場の名残を感じることができる塀が八広一丁目にあります。お風呂屋の傍の塀に使っているのは煉瓦工場で作っていた煉瓦です。この工場で作られた煉瓦は東京駅の赤煉瓦としても使用されていたと聞いています。

B 平井街道・中居堀通りルート

このルートは川に沿って歩くルートです。平井聖天から江戸に向かう平井街道中に大江戸稲荷という場所があります。ここは江戸に向かう途中で水を補給できる休憩所という役割があり、旧街道の名残を感じることができます。

C 北斎通り・清澄通りルート

亀沢には相撲の神様として知られる野見宿禰があります。境内には歴代横綱の名前を刻んだ石碑が建っています。また本所生まれの勝海舟の像や徳川家康の像が墨田区の南部にはあり、江戸文化を感じることができます。



シンポジウム

1月に約半世紀前と現在の道を地図や写真で比較しながら街歩きを行いました。街並みは変わっても道はそのまま残っています。意外なところに痕跡が見られました。シンポジウムでは街歩きで得られた知見を披露しながら、すみだの道の今昔と将来について議論しました。

概要

日時 平成26年3月22日(土)午後2時から午後4時まで
内容 1. 街歩きの報告

2. パネルディスカッション

- コーディネーター 瀧口 雅仁(恵泉女学園大学講師)
- パネリスト 横井 正男(すみだ景観フォーラム実行委員)
- 小木曾 清三(すみだ景観フォーラム実行委員)
- 福井 憲二(すみだ史談会)

シンポジウム

【瀧口さん】今回の街歩きでは紹介されていませんが、白鬚神社の南に東漸寺というお寺があります。そこに道の歴史を表す石造の庚申塔があります。左右の側面には「左やくし道 右市川道」とあり、庚申塔でありながら道標を兼ねているものがあります。私も他に見たことがないとても珍しいものです。また以前は道路にお地蔵様がいらっしゃいました。しかし風化してしまい、最近ではあまり見ることはできません。しかし中居堀にはお地蔵様がいらっしゃいます。このように歴史を平井街道・中居堀通りでは感じることができるようです。機会があればぜひ見に行ってください。



パネルディスカッション、質疑・応答(抜粋)

【参加者】曳舟川通り沿いには当時たくさんの工場がありました。その工場の多くは曳舟川通りの南側に多く、北を向いているものがほとんどでしたがなぜですか。

【横井さん】調査しましたが、はっきりしたことはわかりませんでした。当時まとまった土地を用意できたのは南側のみで、北側は民家だったからではないかという説もあります。

【瀧口さん】推測ですが、仏壇屋は日の向き関係で北向きのお店がほとんどです。それを例に考えると、南に日が当たるように北側は住宅用の土地となり、工場用の土地は南側にしか用意できなかったのかもしれない。

